

# 【生痕化石写真】



東小室ピット 東面写真



東小室ピット東面 生痕化石写真



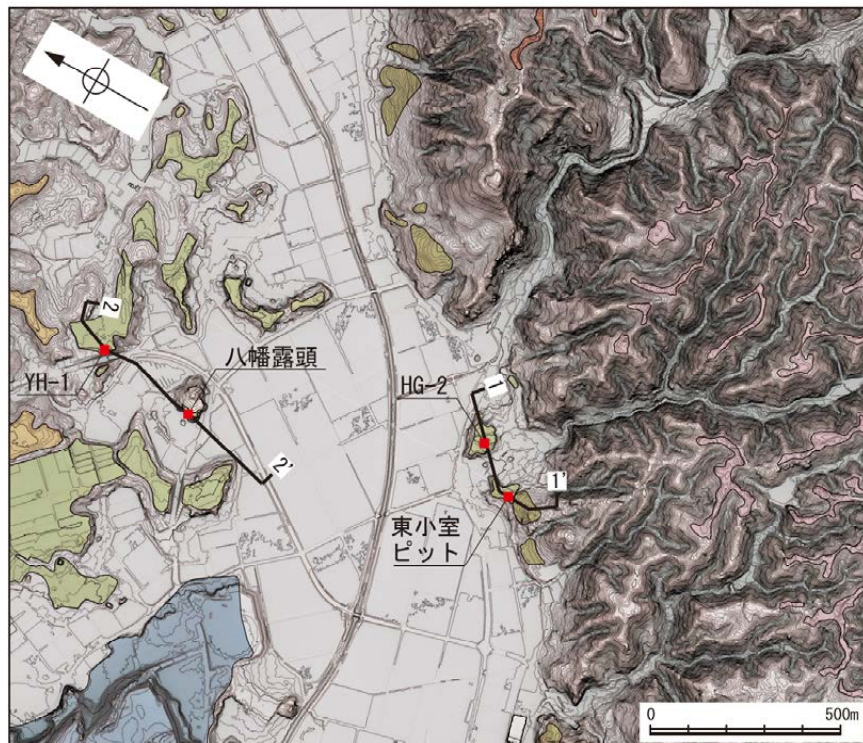
東小室ピット東面 生痕化石写真(解釈線入り)

— 層理  
○ 生痕化石

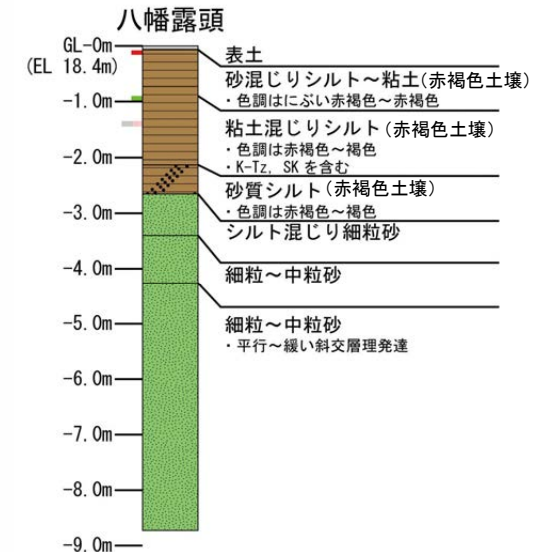
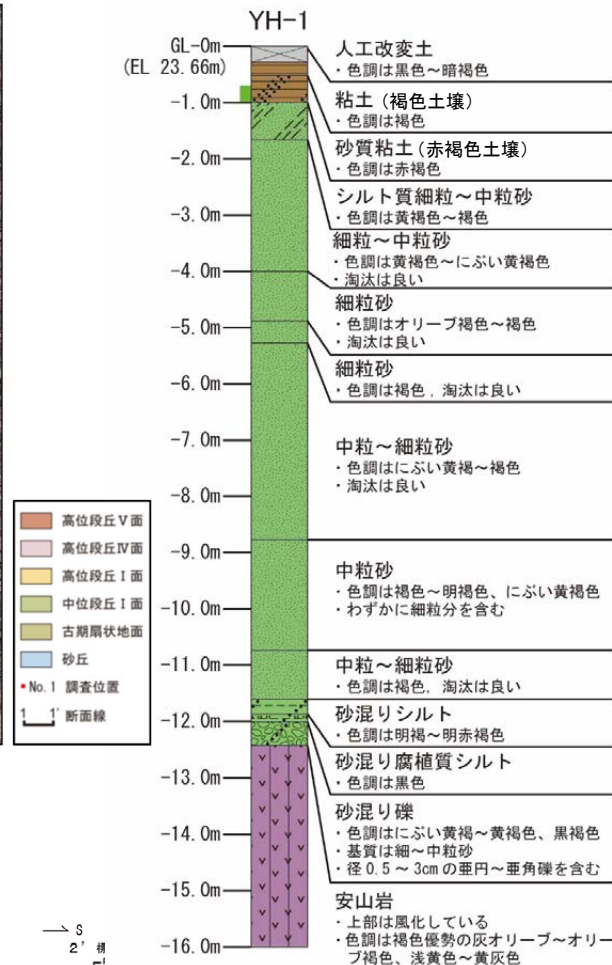


# ボーリング調査(八幡付近) YH-1, 八幡露頭

ODランクのリニアメント・変動地形の北方に分布する中位段丘 I 面のうち、八幡露頭において、海成堆積物(淘汰の良い砂層)とそれを覆う赤褐色土壌中にK-Tz, SKの降灰層準を確認した。また、YH-1孔において、海成段丘堆積物を確認した。



位置図



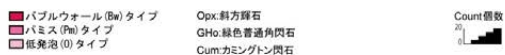
テフラの年代(町田・新井, 2011)  
 AT: 2.8万~3万年前  
 Aso-4: 8.5万~9万年前  
 K-Tz: 9.5万年前  
 SK: 10.5万年前



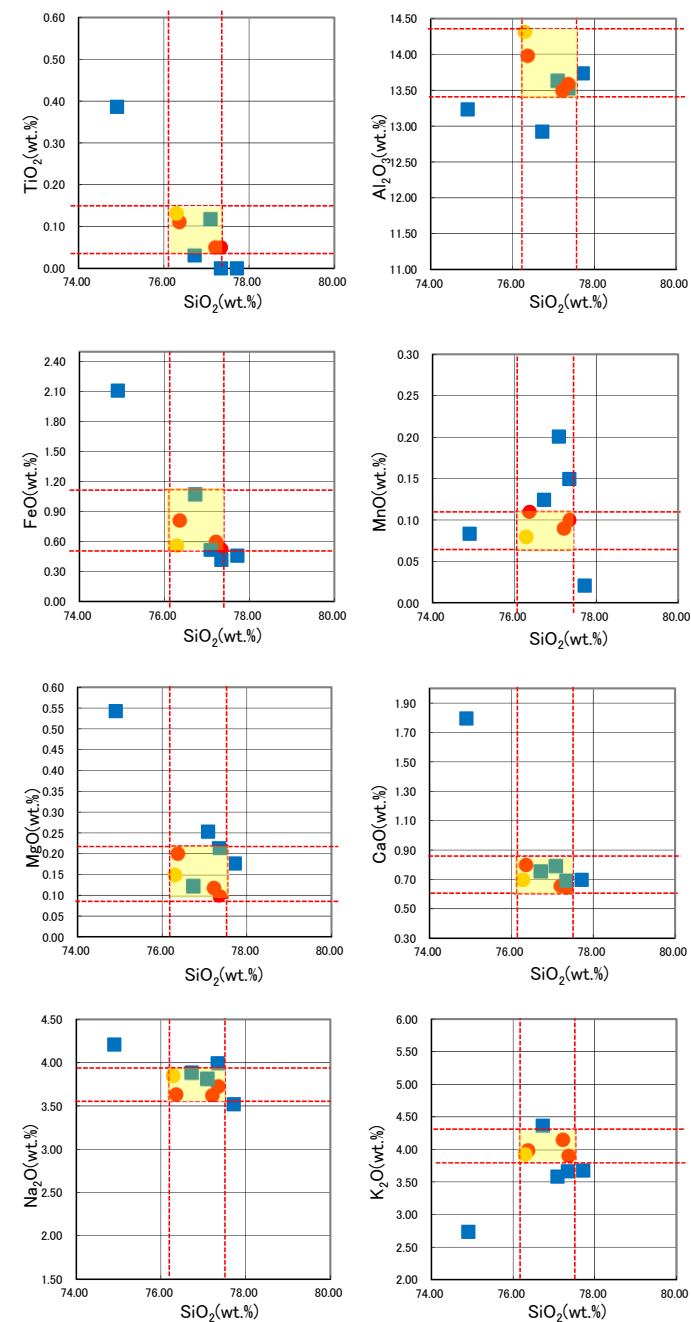
地形断面図

# 【火山灰分析結果(八幡露頭)】

試料番号	テフラ名	火山ガラスの形態別含有量 (/3000粒子)	重鉱物の含有量 (/3000粒子)			β石英 (/3000粒子)	備考	火山ガラスの屈折率 (nd)		角閃石の屈折率 (n2)	
			Opx	GHo	Cum			1.500	1.510	1.680	1.690
YM-01	AT										
YM-02											
YM-03											
YM-04											
YM-05											
YM-06											
YM-07											
YM-08											
YM-09											
YM-10											
YM-11											
YM-12	K-Tz,Aso-4										
YM-13											
YM-14											
YM-15											
YM-16											
YM-17											
YM-18											
YM-19	SK										
YM-20											
YM-21											
YM-22											
YM-23											
YM-24											
YM-25											
YM-26											
YM-27											
YM-28											
YM-29											
YM-30											
YM-31											
YM-32											
YM-33											
YM-34											
YM-35											
YM-36											
YM-37											
YM-38											
YM-39											
YM-40											



火山灰分析結果(八幡露頭)



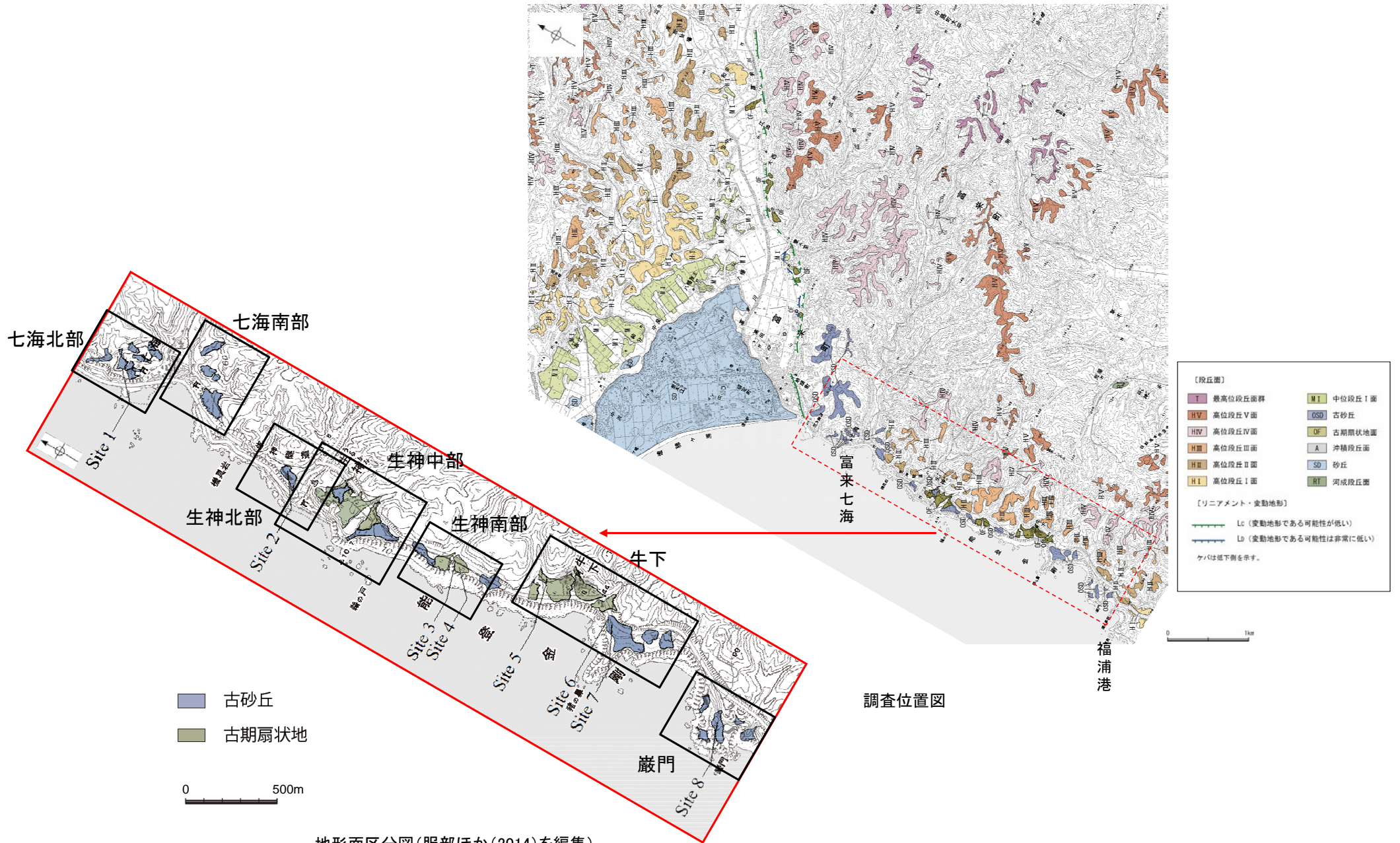
- 試料番号YM-19におけるSKの火山ガラスの主成分
- 文献によるSKの分布範囲
- 青木・町田(2006)におけるSKに含まれる火山ガラス (採取地:鳥取, 島根, 山形)
- 長橋ほか(2007)におけるSKに含まれる火山ガラス (採取地:島根)

---

### (3) 富来川南岸断層南西方の地形面調査



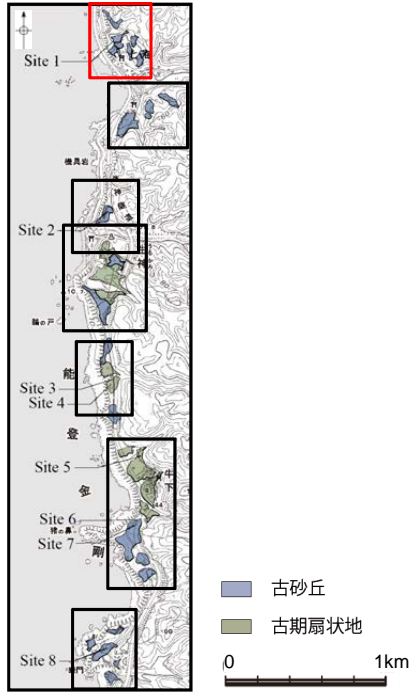
# 全体調査位置図



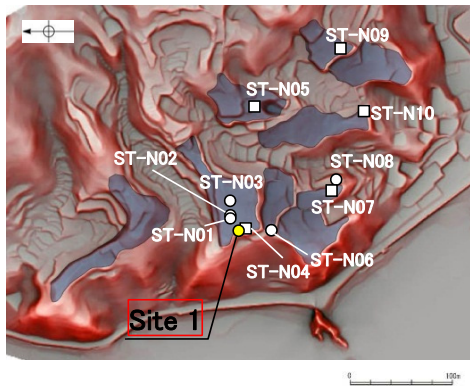


# 七海北部 Site 1 (コア写真・柱状図)

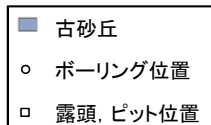
下図拡大範囲



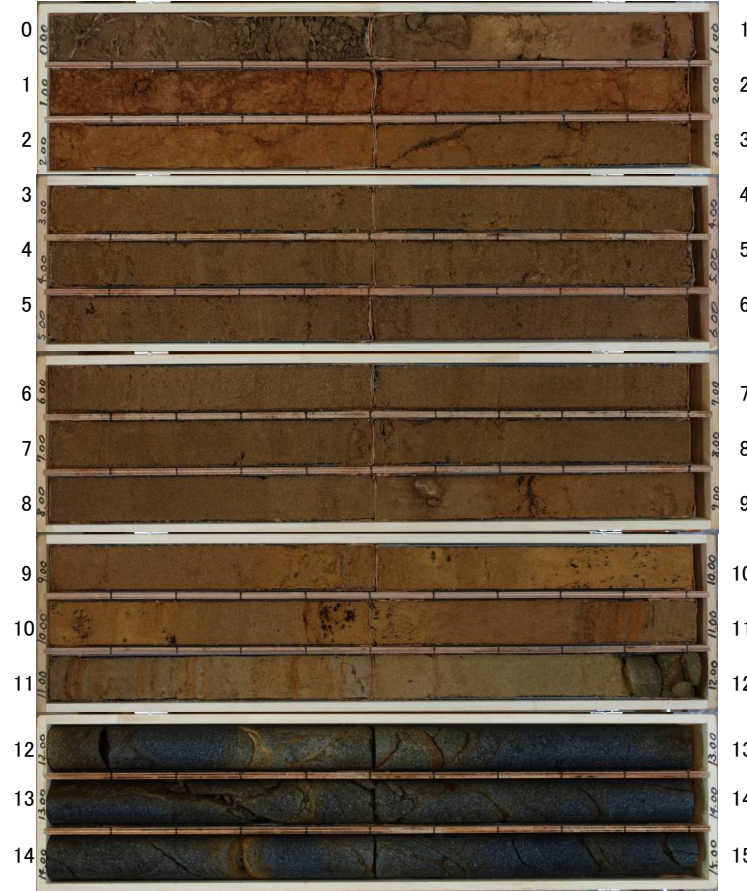
地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)



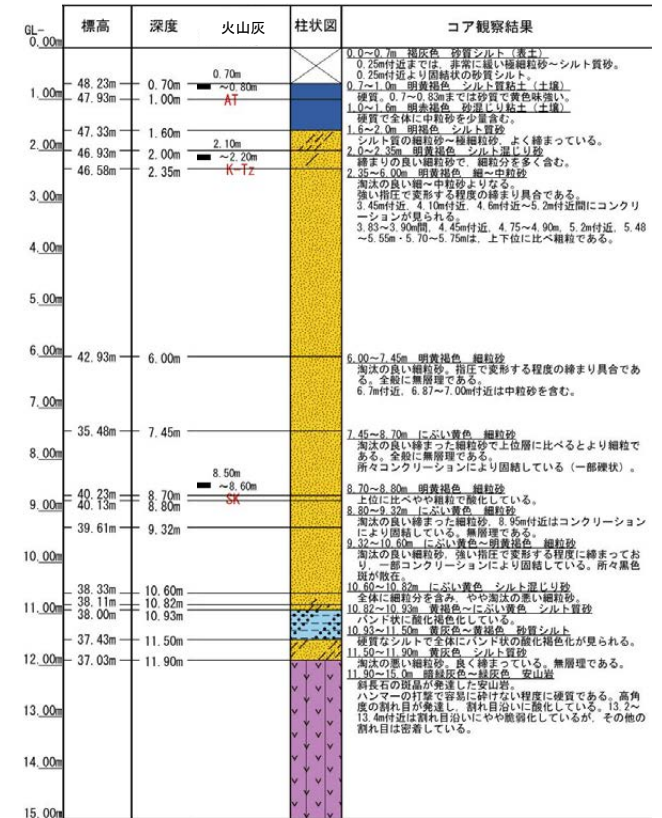
地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)  
(基図は1961年の空中写真から作成)



深度(m) Site 1 (孔口標高48.93m, 掘進長15m, 鉛直) 深度(m)



コア写真(深度0~15m)



柱状図

凡例



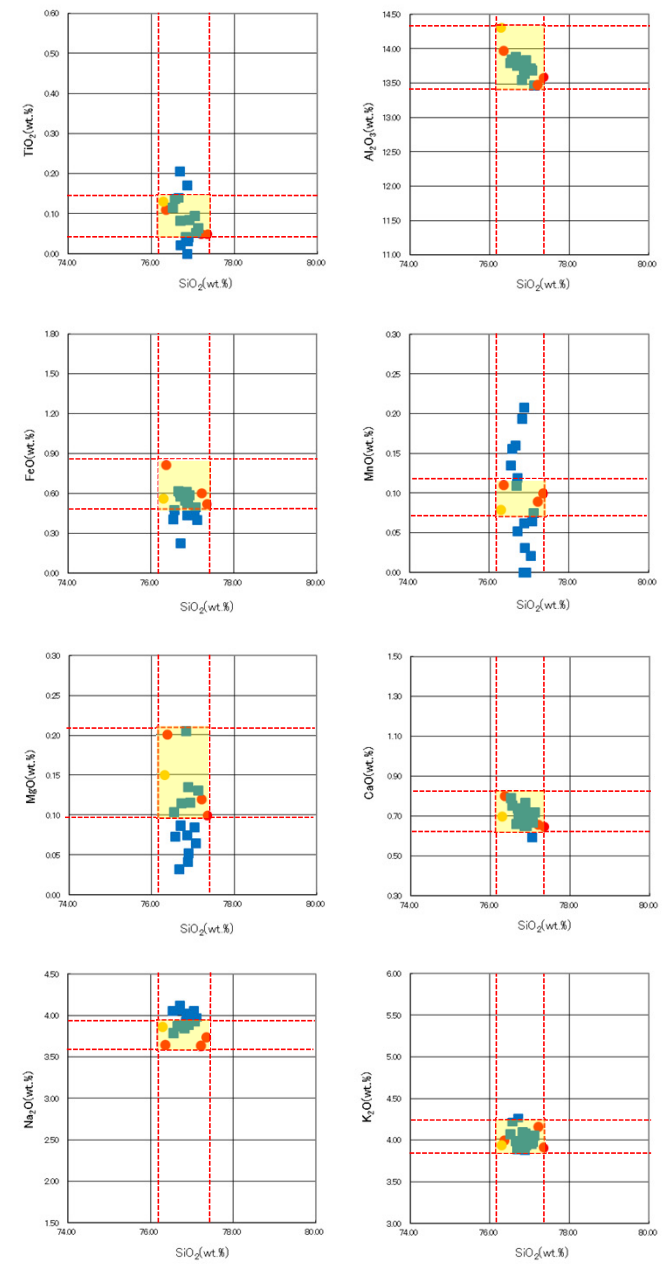


# 七海北部 Site 1 (火山灰分析結果)

試料番号	テフラ名	火山ガラスの 形別含有量 (/3000粒子)	重鉱物の含有量 (/3000粒子)			β石英 (/3000粒子)	備考	火山ガラスの屈折率 (nd)	
			Opx	GHo	Cum			1.500	1.510
0.00-0.10									
0.10-0.20									
0.20-0.30									
0.30-0.40									
0.40-0.50									
0.50-0.60									
0.60-0.70	AT								
0.70-0.80									
0.80-0.90									
0.90-1.00									
1.00-1.10									
1.10-1.20									
1.20-1.30									
1.30-1.40									
1.40-1.50									
1.50-1.60									
1.60-1.70									
1.70-1.80									
1.80-1.90									
1.90-2.00									
2.00-2.10									
2.10-2.20	K-Tz								
2.20-2.35									
2.35-2.50									
2.50-2.60									
2.60-2.70									
2.70-2.80									
2.80-2.90									
2.90-3.00									
3.00-3.10									
3.10-3.20									
3.20-3.30									
3.30-3.40									
3.40-3.50									
3.50-3.60									
3.60-3.70									
3.70-3.80									
3.80-3.90									
3.90-4.00									
4.00-4.10									
4.10-4.20									
4.20-4.30									
4.30-4.40									
4.40-4.50									
4.50-4.60									
4.60-4.70									
4.70-4.80									
4.80-4.90									
4.90-5.00									
5.00-5.10									
5.10-5.20									
5.20-5.30									
5.30-5.40									
5.40-5.50									
5.50-5.60									
5.60-5.70									
5.70-5.80									
5.80-5.90									
5.90-6.00									
6.00-6.10									
6.10-6.20									
6.20-6.30									
6.30-6.40									
6.40-6.50									
6.50-6.60									
6.60-6.70									
6.70-6.80									
6.80-6.90									
6.90-7.00									
7.00-7.10									
7.10-7.20									
7.20-7.30									
7.30-7.45									
7.45-7.60									
7.60-7.70									
7.70-7.80									
7.80-7.90									
7.90-8.00									
8.00-8.10									
8.10-8.20									
8.20-8.30									
8.30-8.40									
8.40-8.50	SK								
8.50-8.60									
8.60-8.70									
8.70-8.80									
8.80-8.90									
8.90-9.00									
9.00-9.10									
9.10-9.20									
9.20-9.30									
9.30-9.40									
9.40-9.50									
9.50-9.60									
9.60-9.70									
9.70-9.80									
9.80-9.90									
9.90-10.00									
10.00-10.10									
10.10-10.20									
10.20-10.30									
10.30-10.40									
10.40-10.50									
10.50-10.60									
10.60-10.70									
10.70-10.82									
10.82-10.93									
10.93-11.00									
11.00-11.10									
11.10-11.20									
11.20-11.30									
11.30-11.40									
11.40-11.50									
11.50-11.60									
11.60-11.70									
11.70-11.80									
11.80-11.90									

■ バブルウォール型タイプ  
■ 放射状型タイプ  
■ Opx:斜方輝石  
■ GHo:緑色普通角閃石  
■ Cum:カシナンタン閃石

火山灰分析結果

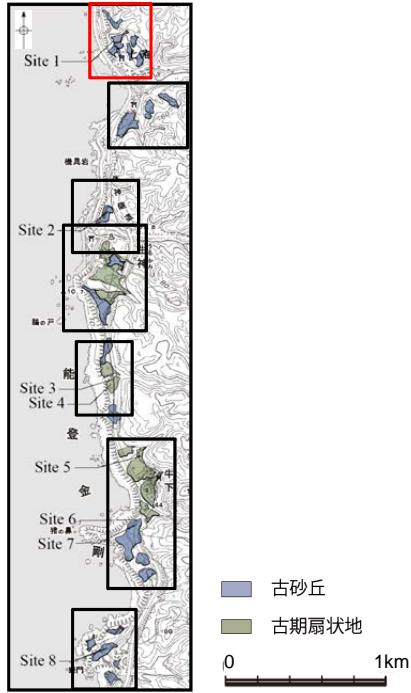


- 試料番号8.50-8.60におけるSKの火山ガラス
- 文献によるSKの分布範囲
- 青木・町田 (2006)におけるSKに含まれる火山ガラス (採取地:鳥取, 島根 山形)
- 長橋ほか (2007)におけるSKに含まれる火山ガラス (採取地:島根)

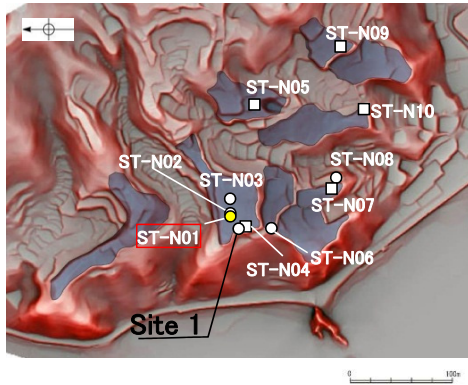
火山ガラスの主成分分析結果: 試料番号8.50-8.60

# 七海北部 ST-N01(コア写真・柱状図)

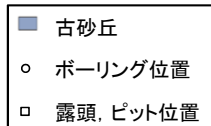
下図拡大範囲



地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)



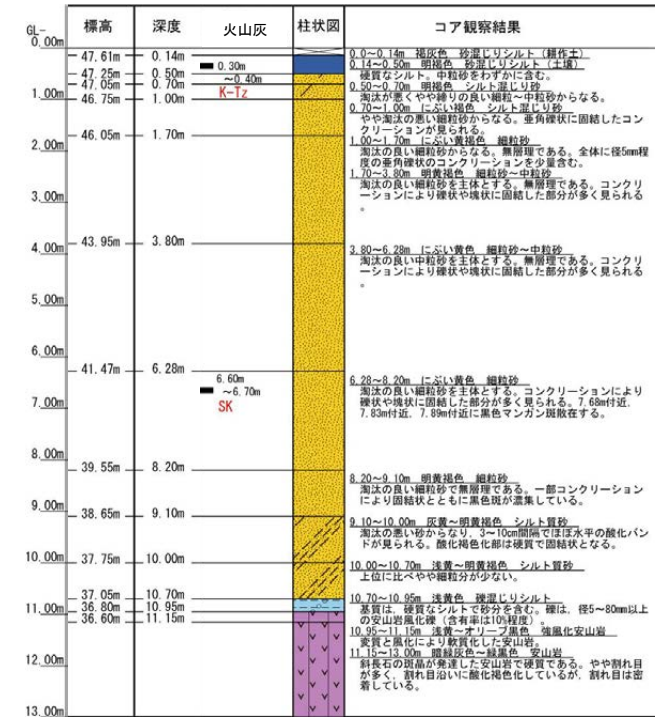
地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)  
(基図は1961年の空中写真から作成)



ST-N01(孔口標高47.75m, 掘進長13m, 鉛直)

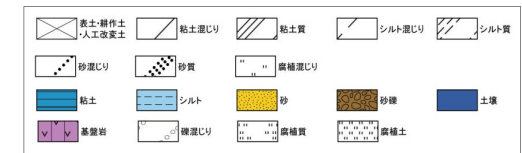


コア写真(深度0~13m)



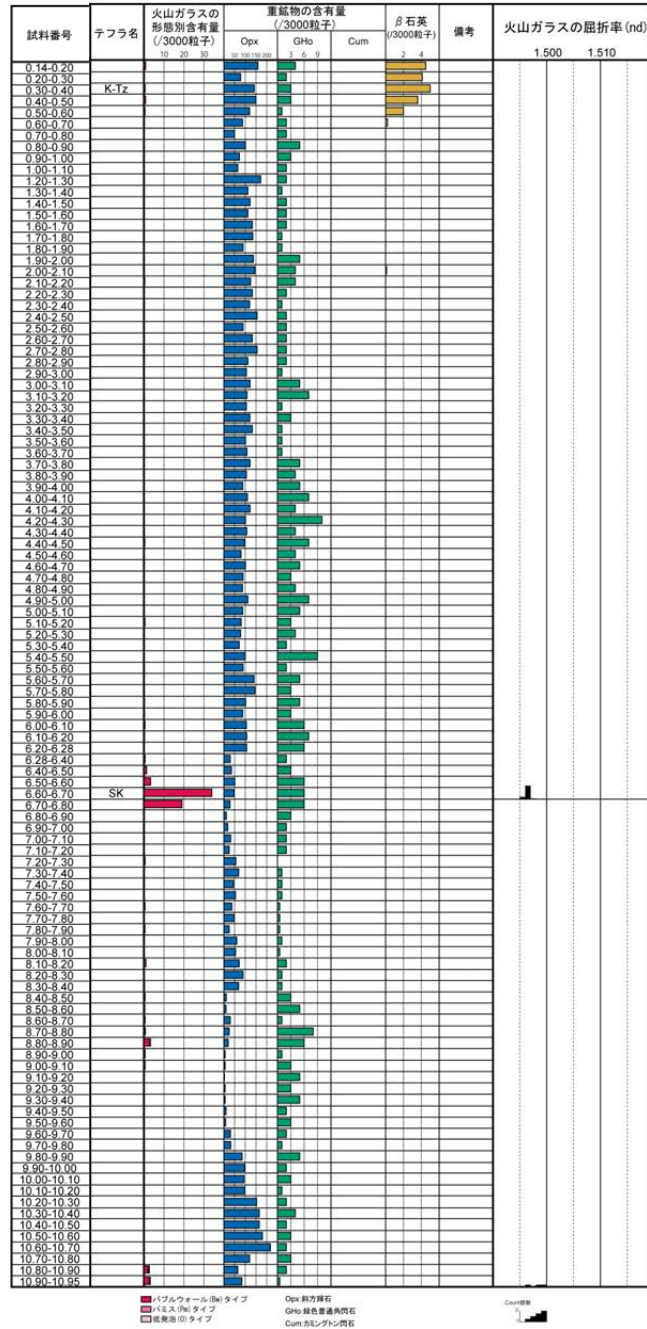
柱状図

凡例





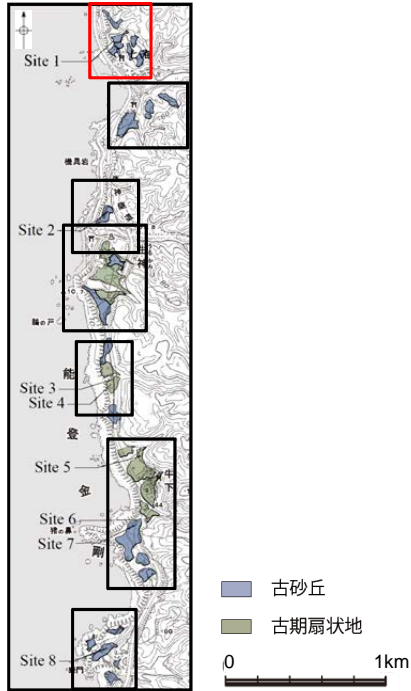
# 七海北部 ST-N01(火山灰分析結果)



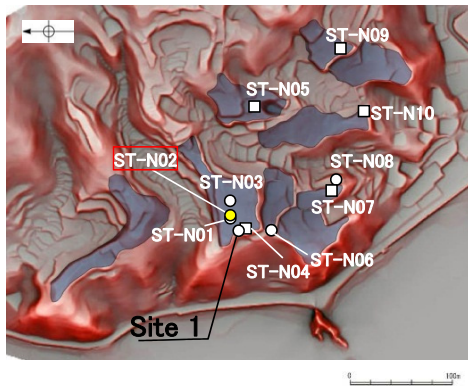
火山灰分析結果

# 七海北部 ST-N02(コア写真・柱状図)

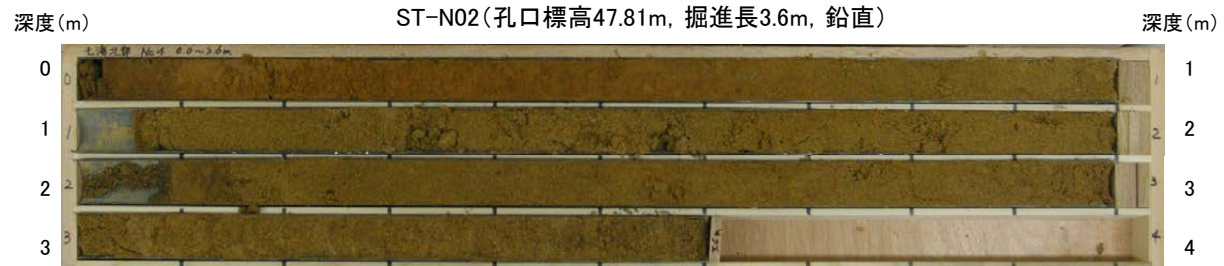
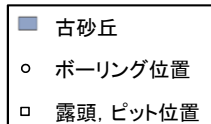
下図拡大範囲



地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)



地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)  
(基図は1961年の空中写真から作成)

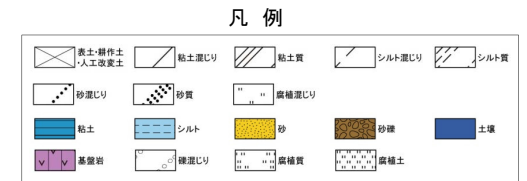


コア写真(深度0~3.6m)

※深度1.0~1.1m間と2.0~2.1m間は、コアサンプラーの打撃によりコアが圧縮されて隙間が空いた区間。

GL-	標高	深度	火山灰	柱状図	コア観察結果
0.00m	47.61m	0.20m	K-Tz混在 (0.20m~0.40m)	[Symbol]	0.00~0.20m 耕作土
1.00m				[Symbol]	0.20~3.60m にふい黄褐色 中粒~細粒砂 砂粒子は亜円~亜角形で、淘汰は良い。指圧で跡が残らないほど良く締まる。 深度0.2~0.4mは、やや土壌化を被り、シルト分をわずかに含み、褐色を呈す。径1~3cm程度のコンクリーションを含む。まれに、幅2mm程度の褐鉄鉱が挟まれる。
2.00m				[Symbol]	
3.00m			SK (2.6m~2.7m)	[Symbol]	
3.60m				[Symbol]	

柱状図





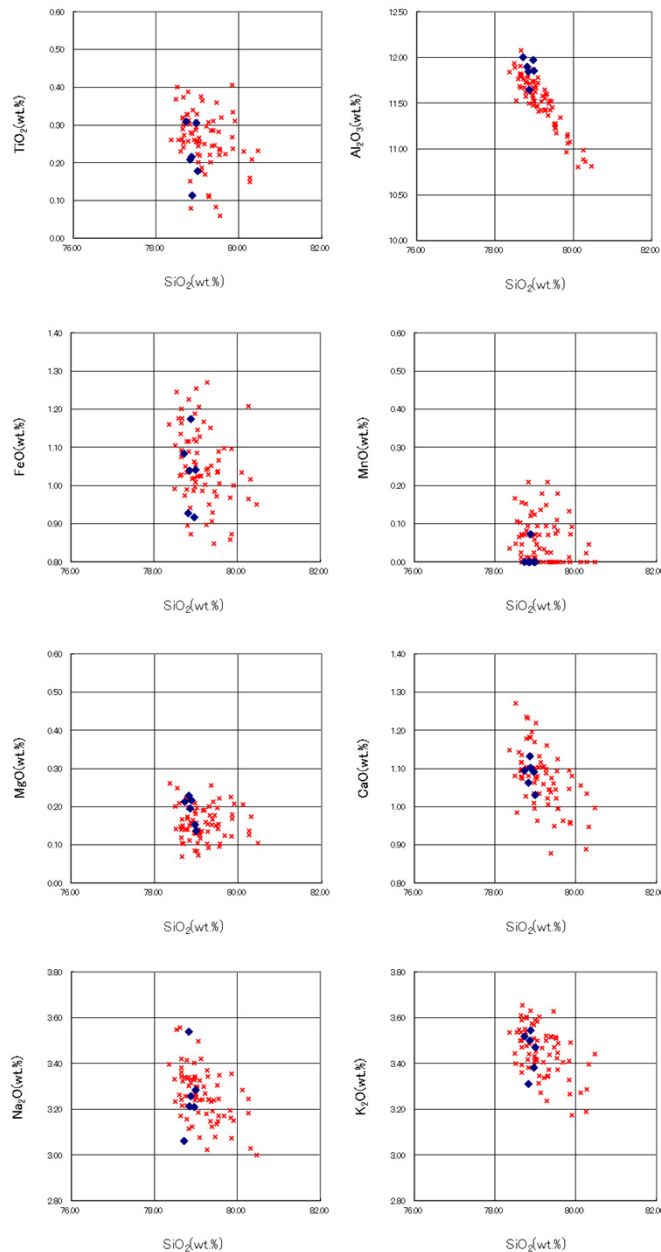
# 七海北部 ST-N02(火山灰分析結果①)

試料番号	テフラ名	火山ガラスの形態別含有量 (/3000粒子)			重鉱物の含有量 (/3000粒子)			β石英 (/3000粒子)	備考	火山ガラスの屈折率 (nd)			角閃石の屈折率 (n2)		
		0.5	1.0	1.5	Opx 60 120	GHo 4 8	Cum			1	2	3	1.680	1.690	
A-02	K-Tz混在	■			■	■		■	ガラス包有物含む						
A-03		■			■	■		■	ガラス包有物含む						
A-04		■			■	■		■	ガラス包有物含む						
A-05						■	■		■	ガラス包有物含む					
A-06						■	■								
A-07					■	■									
A-08					■	■									
A-09		■			■	■									
A-10		■	■		■	■									
A-11		■			■	■									
A-12		■			■	■									
A-13					■	■									
A-14					■	■									
A-15					■	■									
A-16					■	■									
A-17		■			■	■									
A-18		■			■	■									
A-19		■	■		■	■									
A-20		■	■		■	■									
A-21		■			■	■									
A-22		■			■	■									
A-23		■			■	■									
A-24		■			■	■									
A-25		■			■	■									
A-26	SK	■	■		■	■									
A-27		■	■		■	■									
A-28		■			■	■									
A-29		■			■	■									
A-30		■			■	■									
A-31					■	■									
A-32		■			■	■									
A-33					■	■									
A-34		■			■	■									
A-35					■	■									

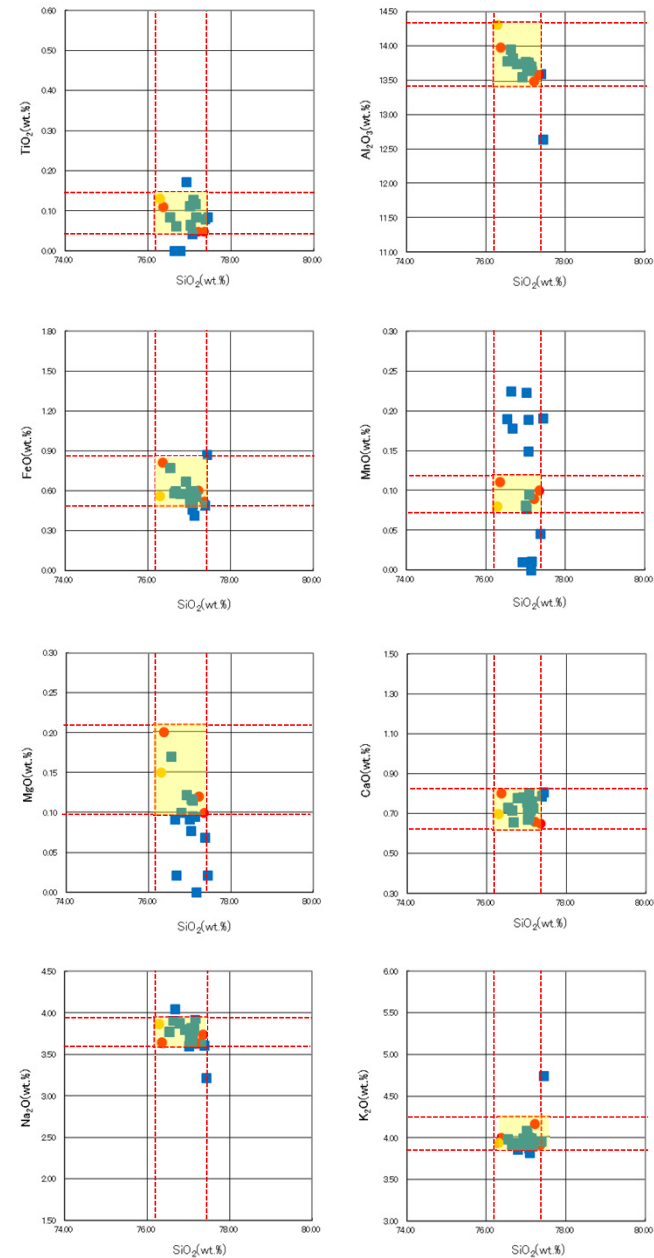
■ バブルウォール (Bw) タイプ  
 ■ バミス (Pm) タイプ  
 ■ 低発泡 (O) タイプ  
 Opx:斜方輝石  
 GHo:緑色普通角閃石  
 Cum:カミングトン閃石

火山灰分析結果

# 七海北部 ST-N02 (火山灰分析結果②)



火山ガラスの主成分分析結果: 試料番号A-02

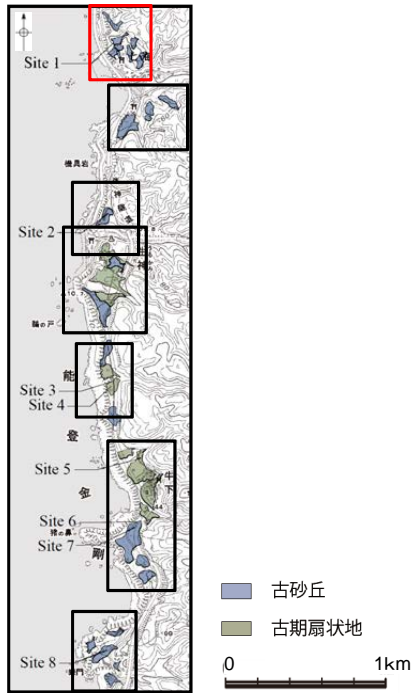


火山ガラスの主成分分析結果: 試料番号A-26

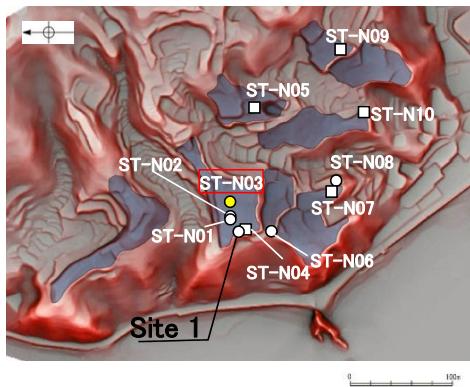


# 七海北部 ST-N03(コア写真・柱状図)

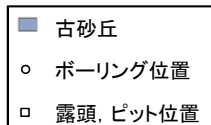
下図拡大範囲



地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)



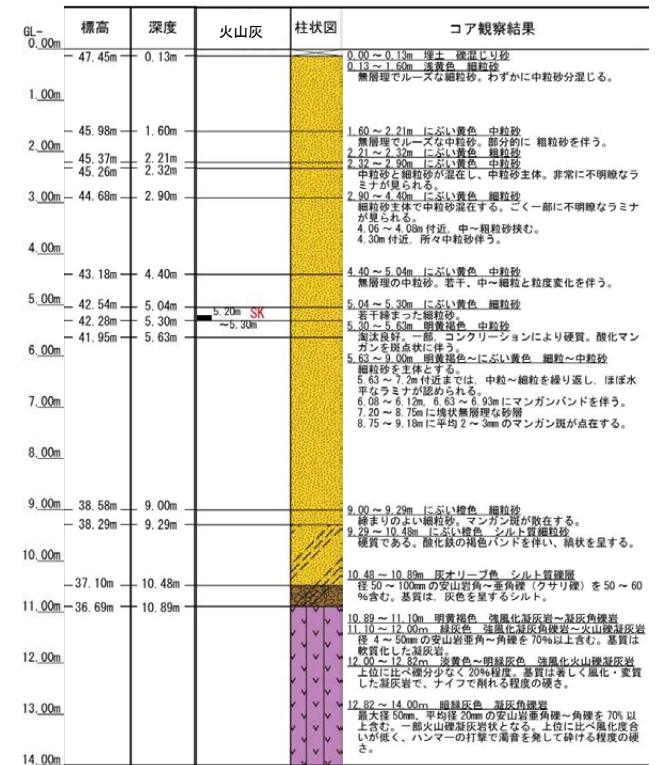
地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)  
(基図は1961年の空中写真から作成)



ST-N03(孔口標高47.58m, 掘進長14m, 鉛直)

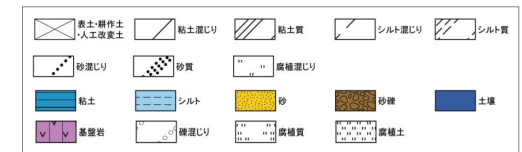


コア写真(深度0~14m)



柱状図

凡例

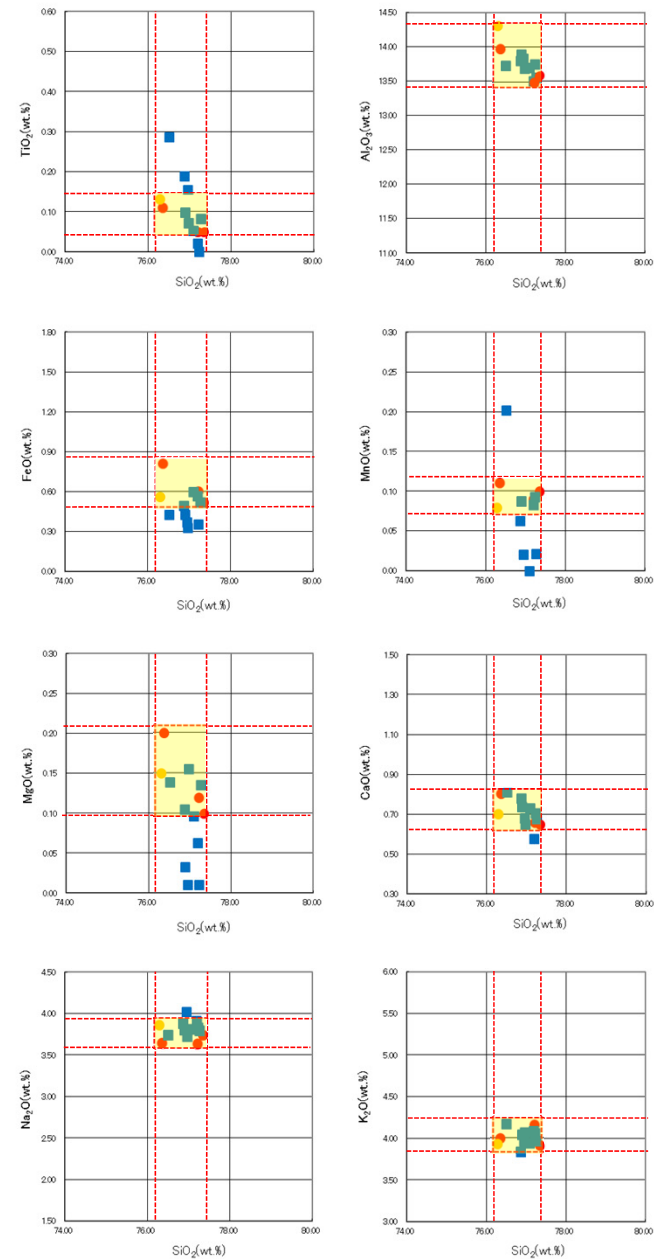


# 七海北部 ST-N03(火山灰分析結果)

試料番号	テフラ名	火山ガラスの 形態別含有量 (/3000粒子)	重鉱物の含有量 (/3000粒子)			β石英 (/3000粒子)	備考	火山ガラスの屈折率 (nd)	
			Opx	GHo	Cum			1.500	1.510
0.13-0.20									
0.20-0.30									
0.30-0.40									
0.40-0.50									
0.50-0.60									
0.60-0.70									
0.70-0.80									
0.80-0.90									
0.90-1.00									
1.00-1.10									
1.10-1.20									
1.20-1.30									
1.30-1.40									
1.40-1.50									
1.50-1.60									
1.60-1.70									
1.70-1.80									
1.80-1.90									
1.90-2.00									
2.00-2.10									
2.10-2.21									
2.21-2.32									
2.32-2.40									
2.40-2.50									
2.50-2.60									
2.60-2.70									
2.70-2.80									
2.80-2.90									
2.90-3.00									
3.00-3.10									
3.10-3.20									
3.20-3.30									
3.30-3.40									
3.40-3.50									
3.50-3.60									
3.60-3.70									
3.70-3.80									
3.80-3.90									
3.90-4.00									
4.00-4.10									
4.10-4.20									
4.20-4.30									
4.30-4.40									
4.40-4.50									
4.50-4.60									
4.60-4.70									
4.70-4.80									
4.80-4.90									
4.90-5.00									
5.00-5.10									
5.10-5.20	SK					EDX			
5.20-5.30	SK					EDX			
5.30-5.40									
5.40-5.50									
5.50-5.63									
5.63-5.70									
5.70-5.80									
5.80-5.90									
5.90-6.00									
6.00-6.10									
6.10-6.20									
6.20-6.30									
6.30-6.40									
6.40-6.50									
6.50-6.60									
6.60-6.70									
6.70-6.80									
6.80-6.90									
6.90-7.00									
7.00-7.10									
7.10-7.20									
7.20-7.30									
7.30-7.40									
7.40-7.50									
7.50-7.60									
7.60-7.70									
7.70-7.80									
7.80-7.90									
7.90-8.00									
8.00-8.10									
8.10-8.20									
8.20-8.30									
8.30-8.40									
8.40-8.50									
8.50-8.60									
8.60-8.70									
8.70-8.80									
8.80-8.90									
8.90-9.00									
9.00-9.10									
9.10-9.20									
9.20-9.29									
9.29-9.40									
9.40-9.50									
9.50-9.60									
9.60-9.70									
9.70-9.80									
9.80-9.90									
9.90-10.00									
10.00-10.10									
10.10-10.20									
10.20-10.30									
10.30-10.40									
10.40-10.50									
10.50-10.60									

■ バブルウォール(Ba) タイプ    Opx:針方輝石  
■ バス(Ba)タイプ                    GHo:緑色普通角閃石  
■ 純黒岩(β)タイプ                    Cum:カモングロン閃石

Count値

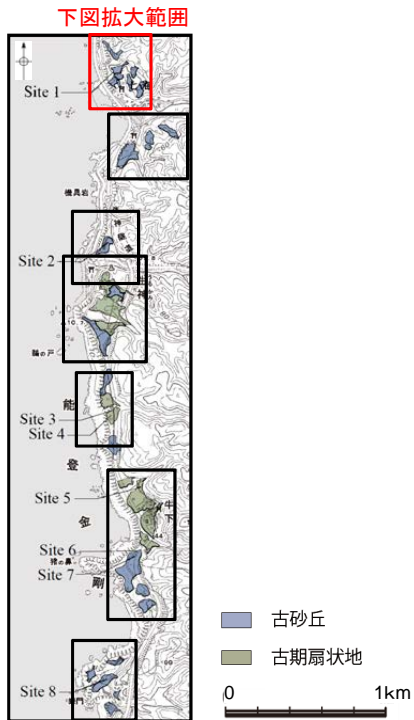


- 試料番号5.20-5.30におけるSKの火山ガラス
- 文献によるSKの分布範囲
- 青木・町田(2006)におけるSKに含まれる火山ガラス(採取地:鳥取, 島根 山形)
- 長橋ほか(2007)におけるSKに含まれる火山ガラス(採取地:島根)

火山ガラスの主成分分析結果: 試料番号5.20-5.30



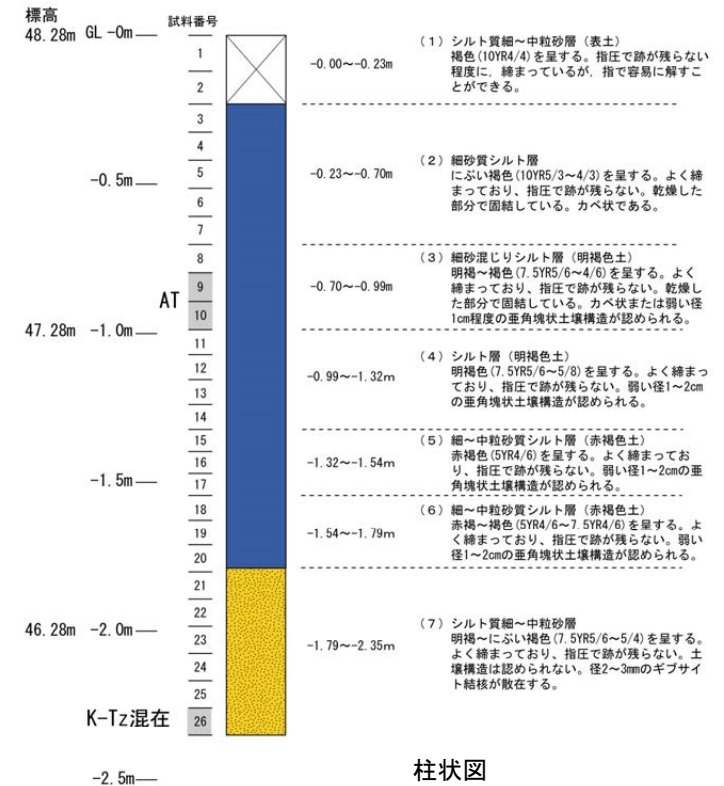
# 七海北部 ST-N04(ピット写真・柱状図・火山灰分析結果)



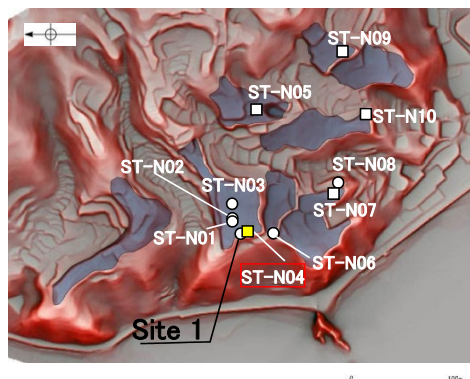
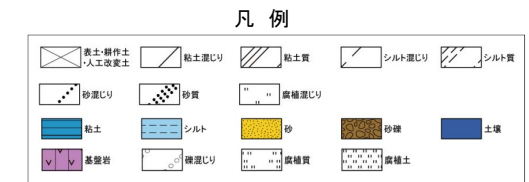
地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)



ピット写真(ST-N04)



柱状図

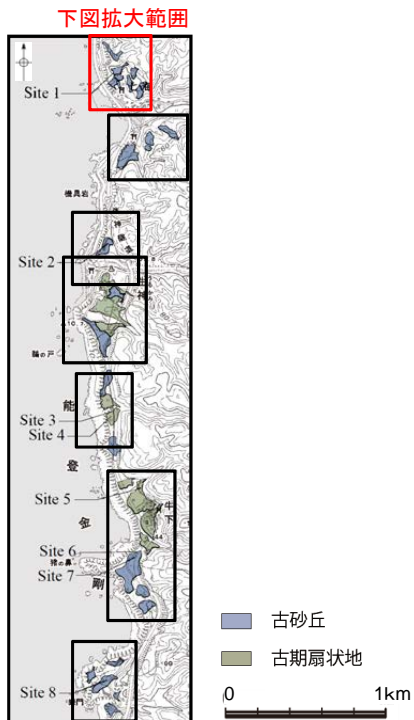


地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)  
(基図は1961年の空中写真から作成)

試料番号	テフラ名	火山ガラスの形態別含有量 (/3000粒子)	重鉱物の含有量 (/3000粒子)			β石英 (3000粒子)	備考	火山ガラスの屈折率(nd)	
			Opx	GHo	Cum			1.500	1.510
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9	AT								
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26	K-Tz混在								

火山灰分析結果

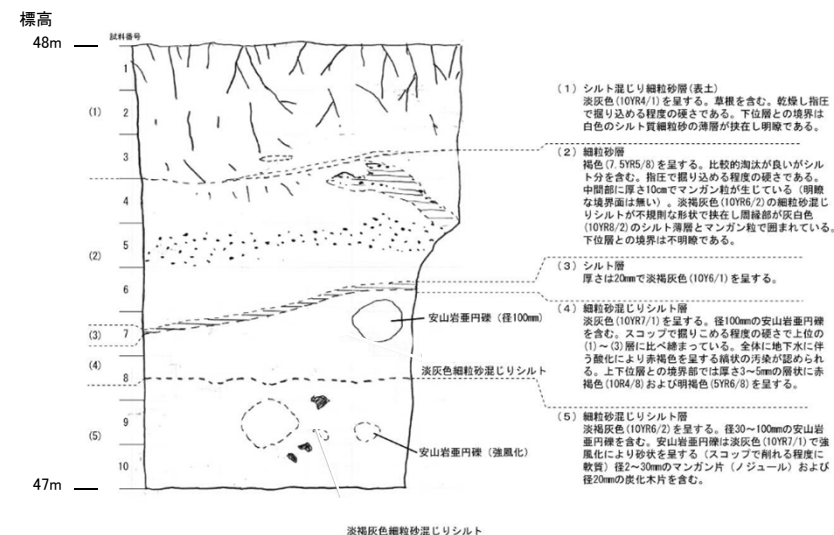
# 七海北部 ST-N05(ピット写真・スケッチ・火山灰分析結果)



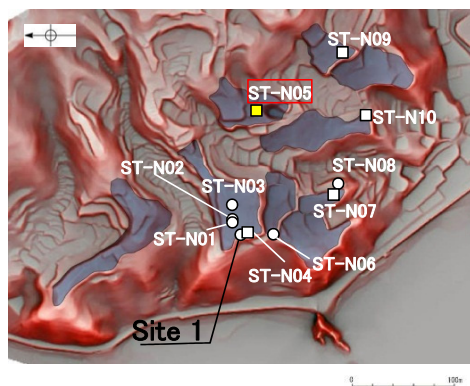
地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)



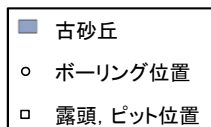
ピット写真(ST-N05)



スケッチ



地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)  
(基図は1961年の空中写真から作成)



試料番号	テフラ名	火山ガラスの形態別含有量(/3000粒子)	重鉱物の含有量(/3000粒子)			β石英(/3000粒子)	備考	火山ガラスの屈折率(nd)	
			Opx	GHo	Cum			1.500	1.510
1		0.5	20 40 60	5 10 15	0.5				
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

■ パブルウォール(Bw)タイプ  
□ 低発泡(O)タイプ

Opx:斜方輝石  
GHo:緑色普通角閃石  
Cum:カミングトン閃石

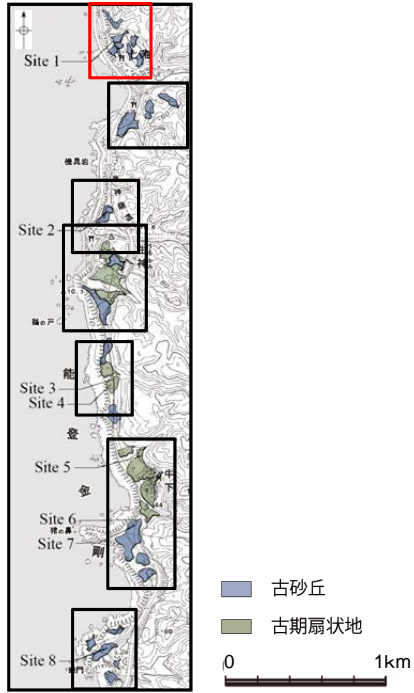


火山灰分析結果

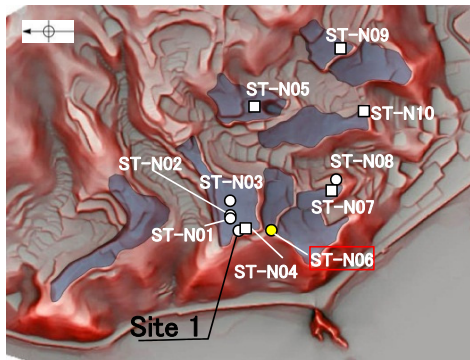


# 七海北部 ST-N06(コア写真・柱状図)

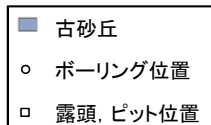
下図拡大範囲



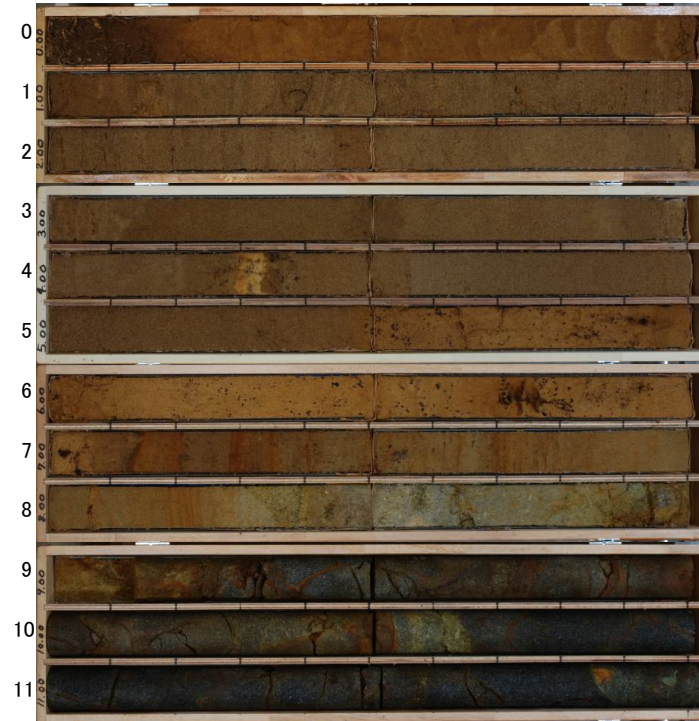
地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)



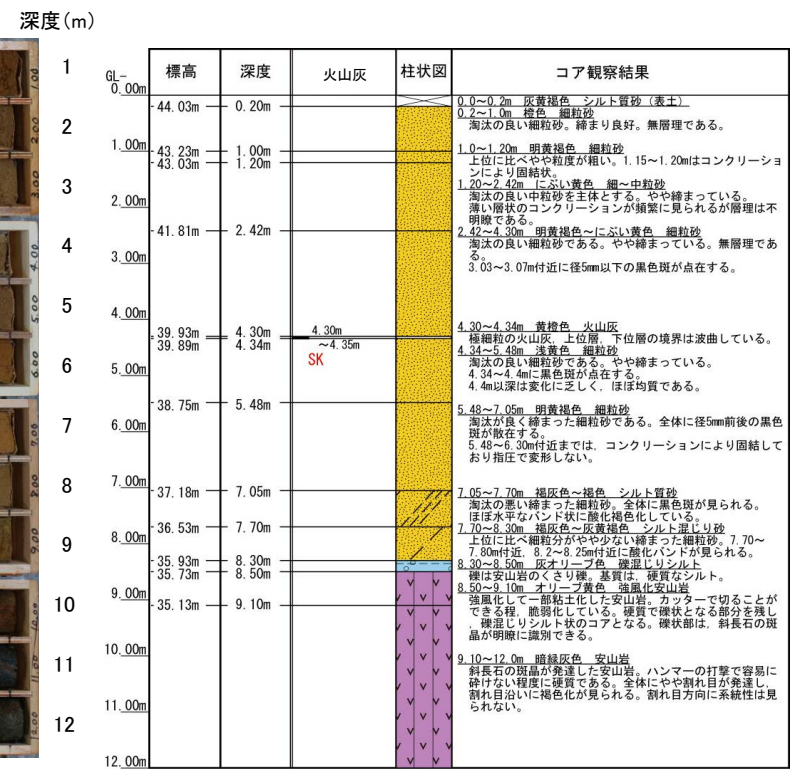
地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)  
(基図は1961年の空中写真から作成)



ST-N06(孔口標高44.23m, 掘進長12m, 鉛直)

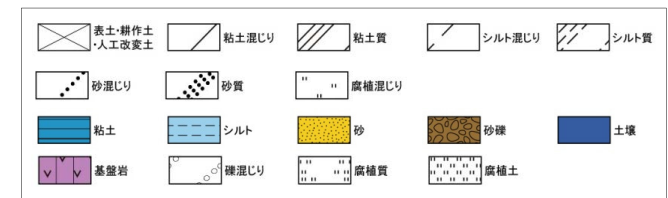


コア写真(深度0~12m)



柱状図

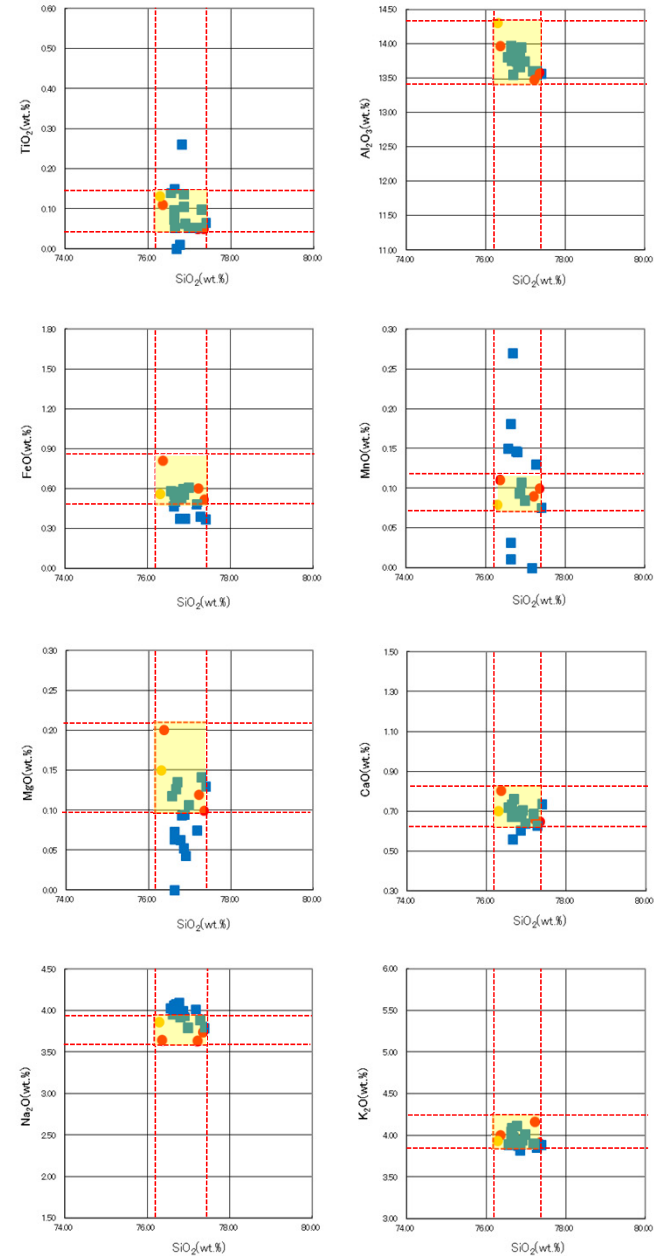
凡例



# 七海北部 ST-N06(火山灰分析結果)

試料番号	テフラ名	火山ガラスの形態別含有量 (/3000粒子)			重鉱物の含有量 (/3000粒子)			β石英 (3000粒子)	備考	火山ガラスの屈折率 (nd)	
		100	200	300	400	Opx	GHo			Cum	1.500
0.00-0.10											
0.10-0.20											
0.20-0.30											
0.30-0.40											
0.40-0.50											
0.50-0.60											
0.60-0.70											
0.70-0.80											
0.80-0.90											
0.90-1.00											
1.00-1.10											
1.10-1.20											
1.20-1.30											
1.30-1.40											
1.40-1.50											
1.50-1.60											
1.60-1.70											
1.70-1.80											
1.80-1.90											
1.90-2.00											
2.00-2.10											
2.10-2.20											
2.20-2.30											
2.30-2.40											
2.40-2.50											
2.50-2.60											
2.60-2.70											
2.70-2.80											
2.80-2.90											
2.90-3.00											
3.00-3.10											
3.10-3.20											
3.20-3.30											
3.30-3.40											
3.40-3.50											
3.50-3.60											
3.60-3.70											
3.70-3.80											
3.80-3.90											
3.90-4.00											
4.00-4.10											
4.10-4.20											
4.20-4.30											
4.30-4.35	SK										
4.35-4.45											
4.45-4.60											
4.60-4.70											
4.70-4.80											
4.80-4.90											
4.90-5.00											
5.00-5.10											
5.10-5.20											
5.20-5.30											
5.30-5.40											
5.40-5.48											
5.48-5.60											
5.60-5.70											
5.70-5.80											
5.80-5.90											
5.90-6.00											
6.00-6.10											
6.10-6.20											
6.20-6.30											
6.30-6.40											
6.40-6.50											
6.50-6.60											
6.60-6.70											
6.70-6.80											
6.80-6.90											
6.90-7.05											
7.05-7.20											
7.20-7.30											
7.30-7.40											
7.40-7.50											
7.50-7.60											
7.60-7.70											
7.70-7.80											
7.80-7.90											
7.90-8.00											
8.00-8.10											
8.10-8.20											
8.20-8.30											
8.30-8.40											
8.40-8.50											

■ バブルウォール (B) タイプ  
■ パミス (Pm) タイプ  
■ 低発泡 (L) タイプ  
 Opx: 斜方輝石  
 GHo: 緑色普通角閃石  
 Cum: カミグナム閃石



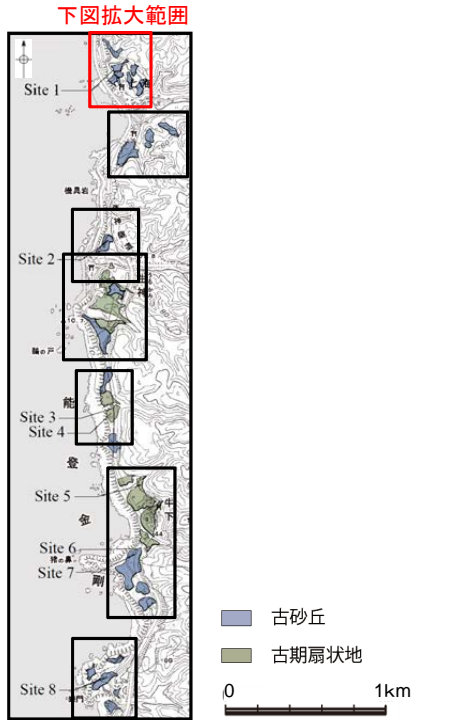
■ 試料番号4.30-4.35におけるSKの火山ガラス  
 文献によるSKの分布範囲  
● 青木・町田 (2006) におけるSKに含まれる火山ガラス (採取地: 鳥取, 島根, 山形)  
● 長橋ほか (2007) におけるSKに含まれる火山ガラス (採取地: 島根)

火山灰分析結果

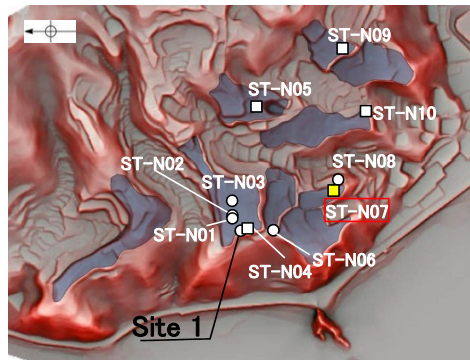
火山ガラスの主成分分析結果: 試料番号4.30-4.35



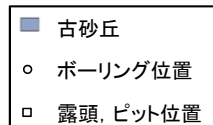
# 七海北部 ST-N07(露頭写真・柱状図・火山灰分析結果)



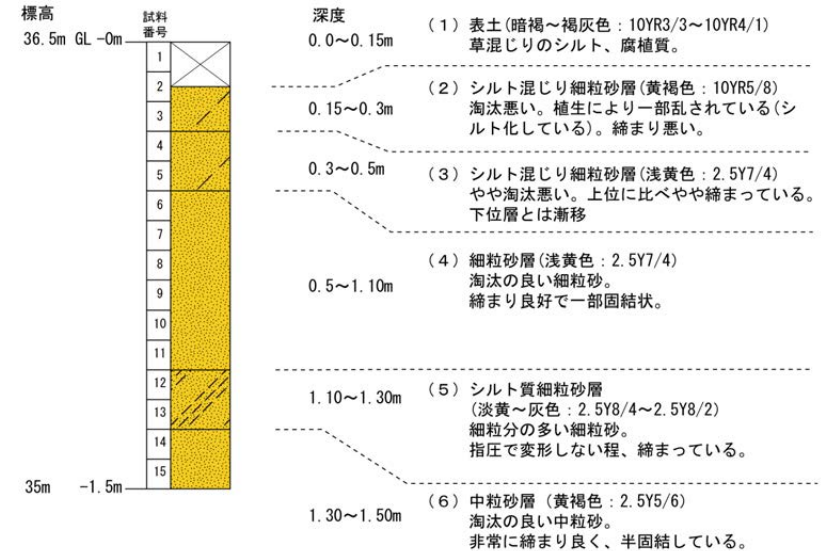
地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)



地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)  
(基図は1961年の空中写真から作成)

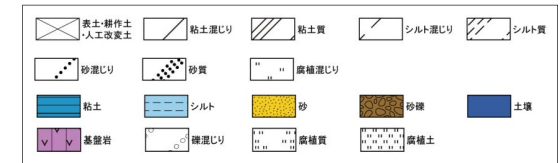


露頭写真(ST-N07)

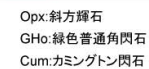
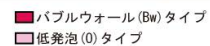


柱状図

凡例



試料番号	テフラ名	火山ガラスの形態別含有量 (/3000粒子)		重鉱物の含有量 (/3000粒子)			β石英 (/3000粒子)			備考	火山ガラスの屈折率 (nd)	
		1	2	OpX	GHo	Cum	0.5	1.0	1.5		1.500	1.510
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												

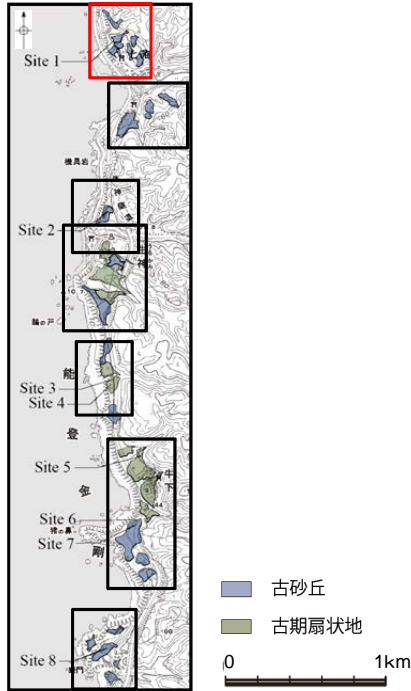


火山灰分析結果



# 七海北部 ST-N08(コア写真・柱状図)

下図拡大範囲

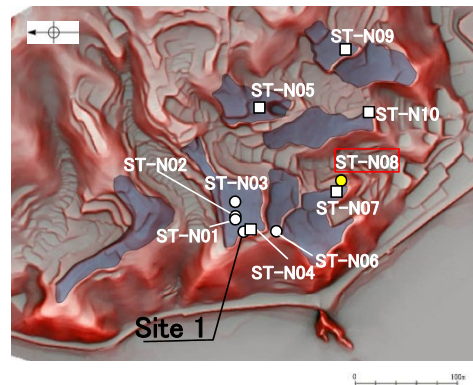
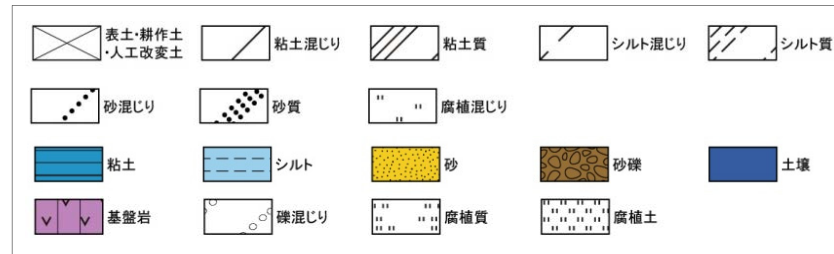


地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)

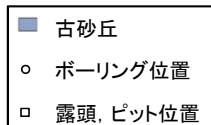
GL-	標高	深度	火山灰	柱状図	コア観察結果
0.00m	34.52m 34.44m	0.14m 0.22m			0.0~0.14m 暗褐色 シルト質砂(表土) 0.14~0.22m 明黄褐色 砂質シルト 全体に不均質で不規則に腐植分を混在する。やや硬質。
1.00m	33.71m	0.95m			0.22~0.95m 明黄褐色 礫混じりシルト 礫は、礫径5mm前後の角礫~亜角礫(凝灰角礫岩起源くさり礫)で、基質(硬質な砂質シルト)との区別がつきにくい。 0.95~3.00m オリーブ灰色 風化凝灰角礫岩 礫は、暗緑灰色、黒色、赤褐色等、雑多な色調の安山岩角礫からなる。礫径は、2~80mmで10mm程度のものが多く、礫含有率は70%以上。 基質は、オリーブ灰色の凝灰岩で風化によりやや軟質化している(強い指圧で変形する)。コアは、ハンマーの打撃で鈍い濁音を発し、容易に削れる。
2.00m					
3.00m	31.66m	3.00m			3.00~6.00m オリーブ黒色 凝灰角礫岩 上位とほぼ同質であるが、上位に比べ新鮮である。コアは、ハンマーの打撃で軽い金属音を発し、容易に砕けない。
4.00m					
5.00m					
6.00m					

柱状図

凡例



地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)  
(基図は1961年の空中写真から作成)



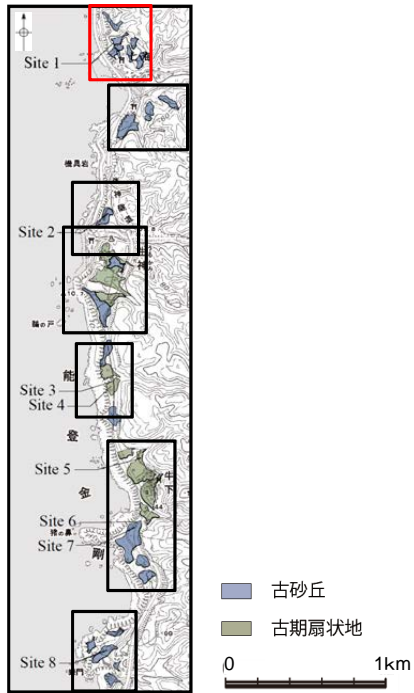
深度(m) ST-N08(孔口標高34.66m, 掘進長6m, 鉛直) 深度(m)



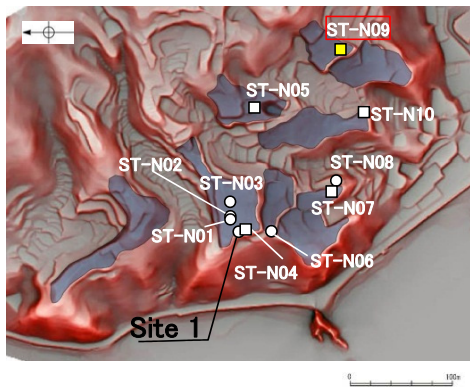
コア写真(深度0~6m)

# 七海北部 ST-N09(ピット写真・柱状図)

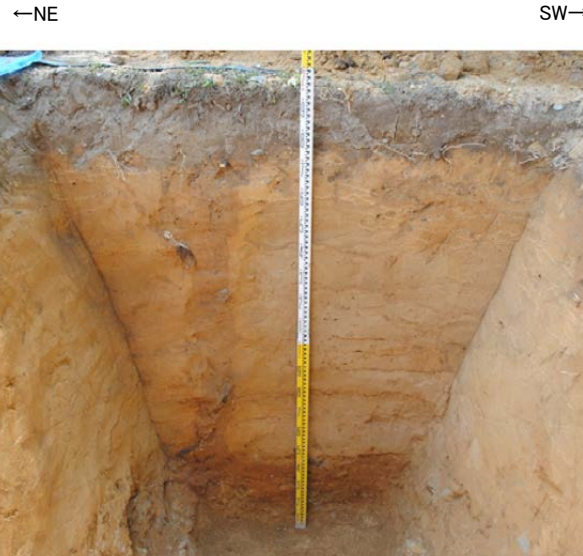
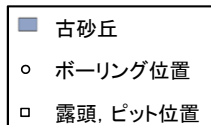
下図拡大範囲



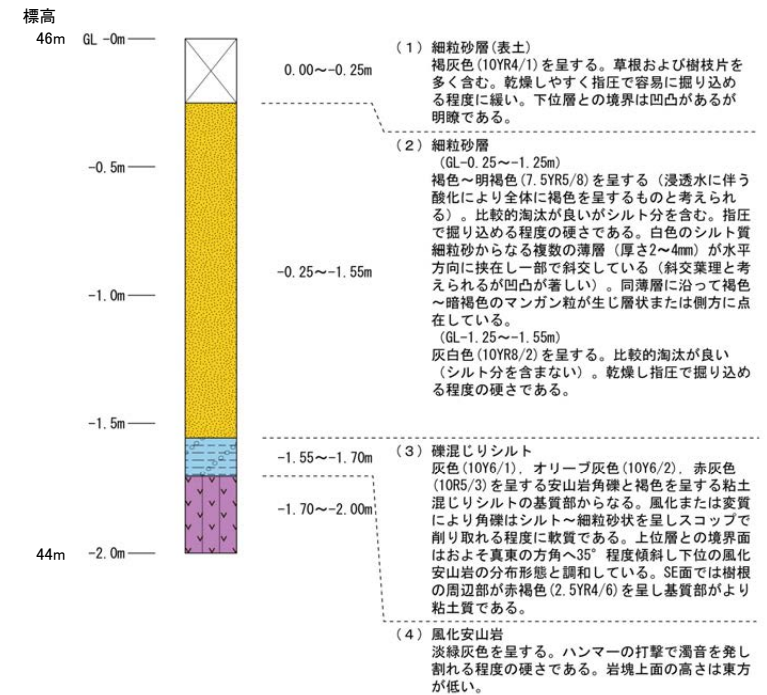
地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)



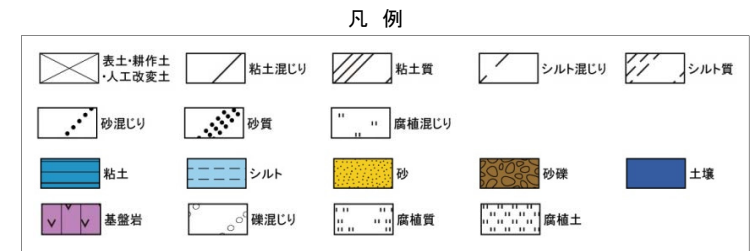
地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)  
(基図は1961年の空中写真から作成)



ピット写真(ST-N09)

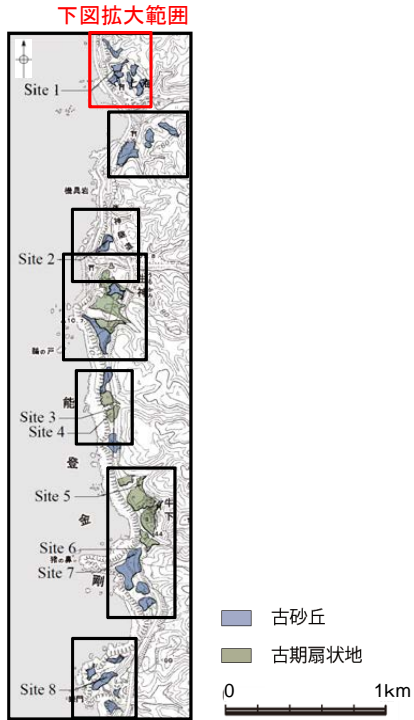


柱状図

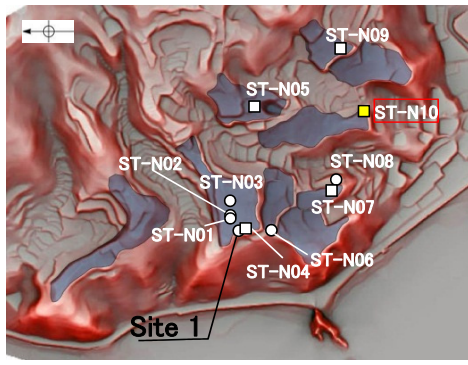




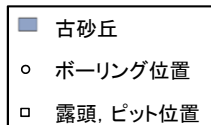
# 七海北部 ST-N10(露頭写真・柱状図・火山灰分析結果)



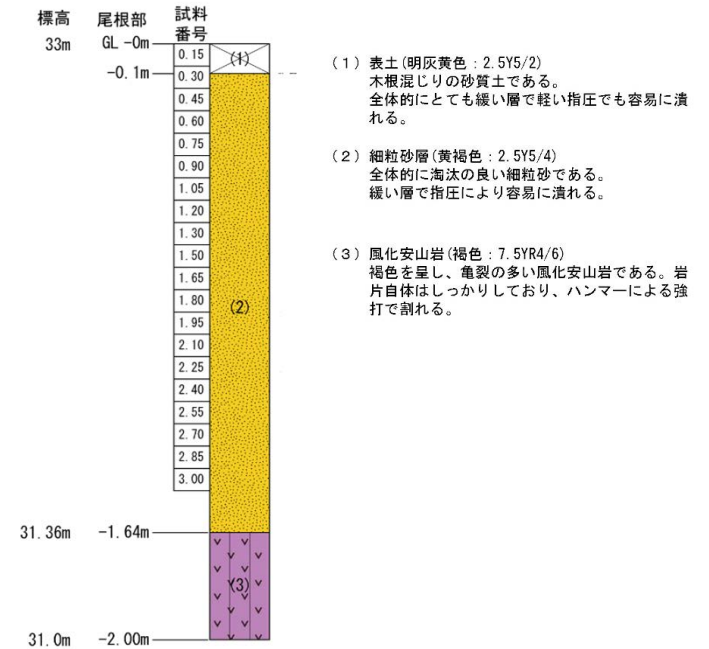
地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)



地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)  
(基図は1961年の空中写真から作成)

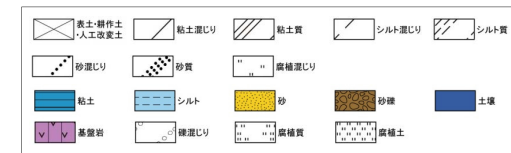


露頭写真(ST-N10)

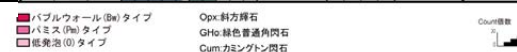


柱状図

### 凡例



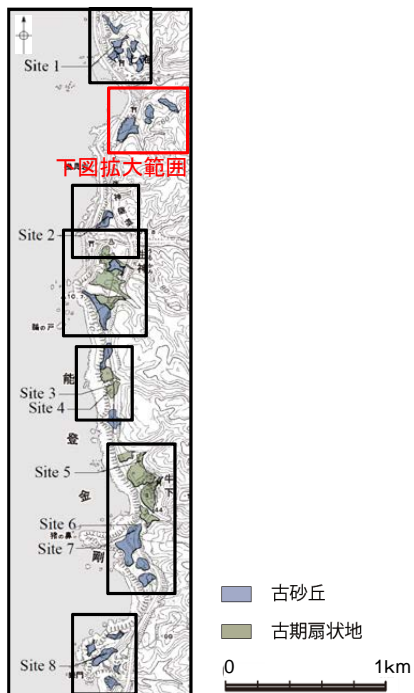
試料番号	テフラ名	火山ガラスの形態別含有量 (/3000粒子)		重鉱物の含有量 (/3000粒子)			β石英 (/3000粒子)	備考	火山ガラスの屈折率 (nd)	
		0.5	1.0	Opx	GHe	Cum			1.500	1.510
0.15										
0.30										
0.45										
0.60										
0.75										
0.90										
1.05										
1.20										
1.35										
1.50										
1.65										
1.80										
1.95										
2.10										
2.25										
2.40										
2.55										
2.70										
2.85										
3.00										



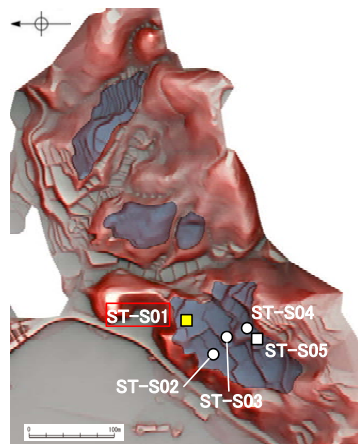
火山灰分析結果



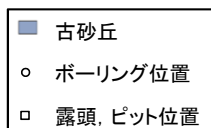
# 七海南部 ST-S01 (露頭写真・柱状図・火山灰分析結果)



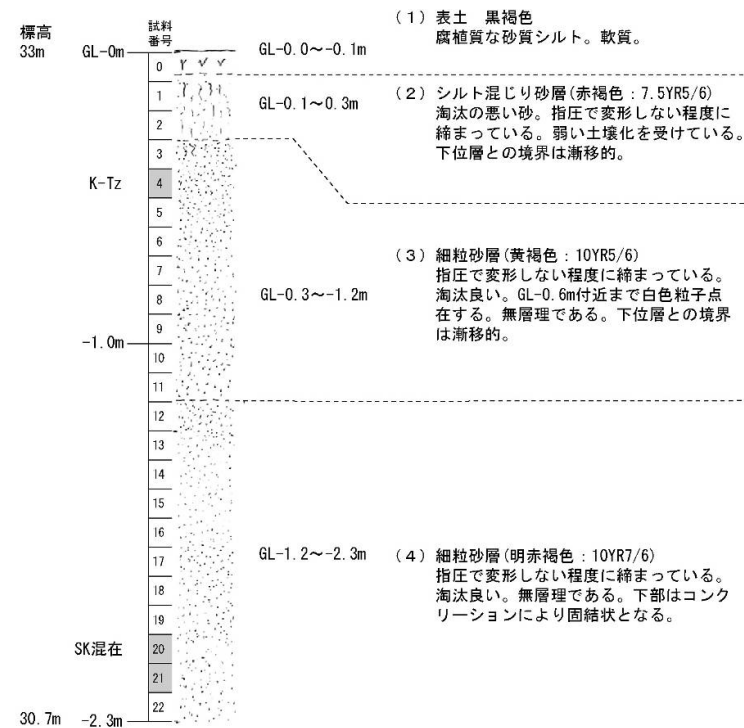
地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)



地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)  
(基図は1961年の空中写真から作成)



露頭写真(ST-S01)



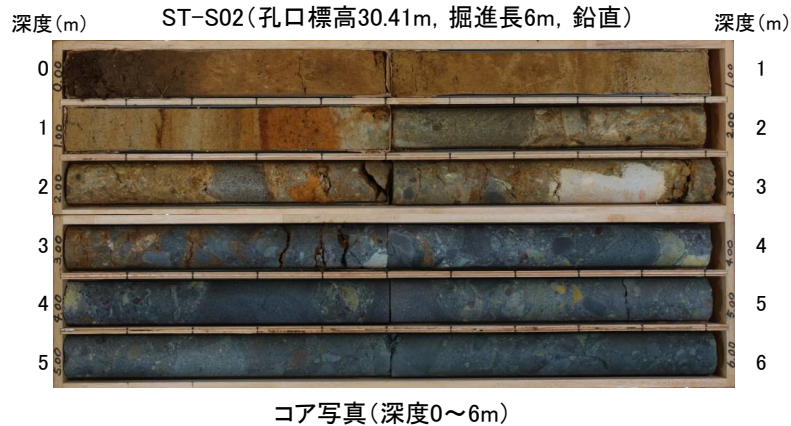
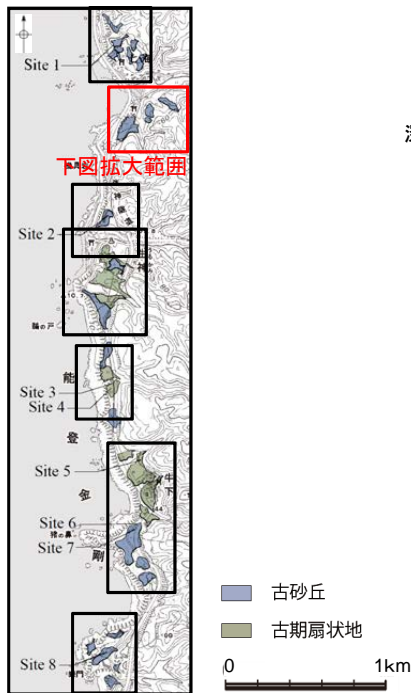
柱状図

試料番号	テフラ名	火山ガラスの 形態別含有量 (/3000粒子)	重鉱物の含有量 (/3000粒子)			β石英 (/3000粒子)	備考	火山ガラスの屈折率(nd)	
			Opx 50 100	GHo 2 4	Cum			1.500	1.510
0(表土)									
1									
2									
3									
4	K-Tz								
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20	SK混在								
21									
22									

■ パルウォール(Ba)タイプ  
□ 低発泡(O)タイプ  
Opx:斜方輝石  
GHo:緑色普通角閃石  
Cum:カモンゴン閃石

火山灰分析結果

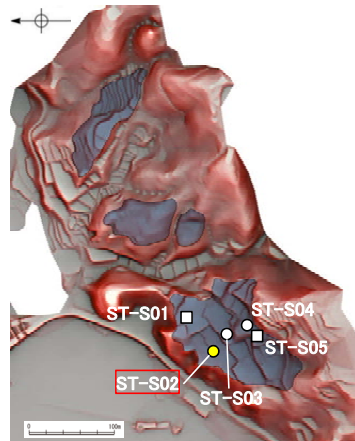
# 七海南部 ST-S02(コア写真・柱状図・火山灰分析結果)



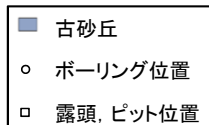
標高	深度	火山灰	柱状図	コア観察結果
GL-0.00m				
30.21m	0.20m			0.0~0.2m 黒褐色 腐植質シルト(表土)
29.91m	0.50m			0.2~0.5m 明黄褐色 砂質シルト(耕作土)
29.57m	0.84m			褐色部と灰白色部が不規則に混在し、不均質なシルト。
29.10m	1.31m			0.5~0.84m 明黄褐色 シルト質砂
29.01m	1.40m			淘汰の悪い細粒砂。径2mm程度の黒色斑が点在する。不明瞭な灰白色部が波曲した層状をなす。
28.94m	1.47m			0.84~1.31m 浅黄色 シルト混じり砂
				やや淘汰の悪い細粒砂。全体に黒色斑が散在する。1.22m以深は、酸化している。
				1.31~1.40m 明褐色 シルト質砂
				淘汰悪く、下位ほどシルト分多い。著しく酸化している。
				1.40~1.47m 灰白色 シルト
				やや砂質である。指圧で変形する。粘性がある。
				1.47~3.00m 明黄褐色 風化凝灰角礫岩
				安山岩質の凝灰角礫岩。風化により基質は、ツメで傷がつく程度の硬さで、一部粘土化している。礫は、径2~250mm以上の多様な色調を呈する安山岩垂角~角礫からなり、やや軟質化している。
				3.00~6.00m 暗青灰色 安山岩質凝灰角礫岩
				ハンマーの打撃で容易に砕けない。3.4m付近までは割れ目が多く、割れ目面が酸化している。径100~200mm以上の暗青灰色の安山岩礫とそれを充填する径2~40mmの多様な色調の安山岩礫よりなる。

柱状図

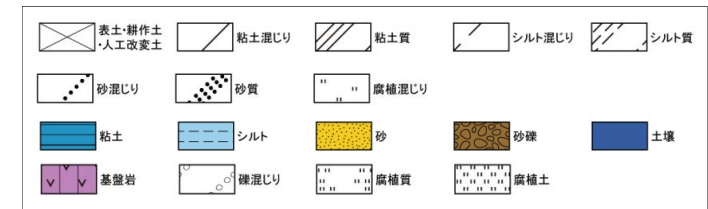
地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)



地形面区分図(服部ほか(2014)を編集)  
(基図は1961年の空中写真から作成)



凡例



試料番号	テフラ名	火山ガラスの形態別含有量 (/3000粒子)	重鉱物の含有量 (/3000粒子)			β石英 (/3000粒子)	備考	火山ガラスの屈折率 (nd)	
			Opx	GHo	Cum			1.500	1.510
0.50-0.60		0.1 0.2 0.3 0.4	100 200 300	1 2 3					
0.60-0.70									
0.70-0.80									
0.80-0.90									
0.90-1.00									
1.00-1.10									
1.10-1.20									
1.20-1.30									
1.30-1.40									
1.40-1.47									

Opx:斜方輝石  
GHo:緑色普通角閃石  
Cum:カミングトン閃石

火山灰分析結果

